

平成30年度 あおい保育園 自己評価内容（個人用）

①《社会人として意識をもち、組織について理解し、行動しているか》

- 1 職務上知り得た事実や職員間の問題等を園内で他言していないか。
- 2 同僚の身だしなみについて意識しているか。
- 3 時間前行動を心がけているか。
- 4 健康であるように自己管理をしっかりとしているか。
- 5 相手に好印象を与える身なり（服装・髪型・清潔感を保つなど）をしているか。

②《あいさつや言葉づかいなどの正しい基本行動を実践しているか》

- 1 関わるすべての人たちに、気持ちの良い挨拶ができているか。
- 2 相手や状況に応じて尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使い分けているか。
- 3 社会人として礼儀正しい対応と言葉づかいができているか。
- 4 どのような時でも、はっきりとした挨拶や返事を心がけているか。
- 5 子どもに挨拶の大切さを伝えているか。

③《書類提出期限の遵守や報告義務の遂行等、組織人の基本的対応ができているか》

- 1 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか。
- 2 報告は①結論②経過③私見（自分の意見）を明確に区別し順に述べているか。
- 3 タイミングよくこまめに中間報告ができているか。
- 4 園の物品の場所を把握しているか。
- 5 限られた人物・お金と時間で、最良の結果を出そうと取り組んでいるか。

④《適宜適切に連絡・相談するなど、迅速な問題の解決に貢献しているか》

- 1 伝えた「つもり」で終わらず、5W1Hで確認し連絡しているか。
- 2 連絡の必要性を相手の立場で考えているか。
- 3 連絡を受け取った際は、その情報をしっかりと活用しているか。
- 4 疑問点は上司・先輩・関係者に相談しているか。
- 5 連絡を受けた際は、その情報を活用しているか。

⑤《職場のコミュニケーションに配慮し、良好な人間関係の構築に努めているか》

- 1 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか。
- 2 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか。
- 3 相手を尊重しようと努めているか。

- 4 自分から心を開き、相手に話しかけているか。
- 5 自分が困っている時には、相手に状況を確認して協力を求めているか。

⑥《チームワークの重要性を理解しているか》

- 1 チームワークの重要性を正しく理解しているか。
- 2 子どものことを考えるにあたり、職員同士が共通の意識をもっているか。
- 3 「ありがとう」の気持ちをもって常に行動しているか。
- 4 仕事を任される範囲が日々広がっているか。
- 5 職場の中での自分の立場を理解し、行動しているか。

⑦《職務に創造的態度で向き合い、新しい事柄への能動的な取り組みをしているか》

- 1 仕事や任務のプライオリティ（優先順位）を考え、工夫して効果的に取り組んでいるか。
- 2 人の相談に偏りなく、耳に傾け、一緒に考えているか。
- 3 過去の成功体験に頼らず、新しいことに挑戦する勇気と行動力をもっているか。
- 4 園や自分にとってプラスになる情報を（アンテナを張り巡らせて）得ようとしているか。
- 5 新しいことにチャレンジする行動力が備わっているか。

⑧《子どもの情緒の安定に配慮した行動ができるか》

- 1 職員が一方的に保育を進めていないか。
- 2 一人ひとりの思いや姿、言葉を受け止めながら保育を展開出来ているか。
- 3 子どもに安心感や落ち着きをもたらす環境づくりができていないか。
- 4 職員自身があたたかい雰囲気づくりを心がけているか。
- 5 担当の保育室・教室内にとどまらず、園内の環境に目を向けて整えようと努めることができているのか。

⑨《子どもに対し、あそび・その他の活動への関心を高められる環境の設定が理解できているか》

- 1 子どもと一緒に楽しみながらあそびを展開させているか（人的）。
- 2 子どもの興味・関心・発達に合わせたコーナーづくりをしているか（物的）。
- 3 子どもが行事に意欲的に取り組めるよう努めているか。
- 4 絵本や紙芝居、手あそびで子どもを引きつけることができているか。
- 5 経験させてあげたい遊びに対して、様々な角度から子どもの予想される姿を考え保育を進めているか。

⑩「子どもの人権に配慮した言動ができているか」

- 1 一人ひとりの違いを大切に、個性を尊重した保育を意識しているか。
- 2 子どもが自分の思いや考えを言える環境をつくっているか。
- 3 子どもの人権についての知識を持ち、愛情をもって一人ひとりの子どもに向き合うことができるか。
- 5 お互いを尊重する心を育てるため、子どもが友だちの気持ちや発言を受け入れているか。
性差への先入観による見解や役割をさせないように配慮した保育をしているか。

⑪「子どもの表現力を養う関わりができているか」

- 1 表現活動について求められている援助を正しく理解できているか。
- 2 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、創造性を養っているか。
- 3 職員自身が楽しめているか。
- 4 「子どもと楽しみたい」という気持ちを持っているか。
- 5 年齢や興味・発達に応じた手遊び・伝承遊び・リズムあそびを保育に取り入れているか。

⑫「保育活動における受容の態度について理解し、実践しているか。」

- 1 子どもの接し方について、独りよがりにならず、相談・話し合いをし、振り返っているか。
- 2 子ども一人ひとりの家庭環境や心身の状態、発達過程を把握しているか。
- 3 禁止する言葉や否定する言葉を言わないようにしているか。
- 4 子どもの思いを受け止めているか。
- 5 保護者にスキンシップの大切さを伝えているか。

⑬「子ども一人ひとりに対応できる保育を行っているか」

- 1 子どもの動きから出るサインを見逃していないか。
- 2 子どもが安心できる関わりができているか。
- 3 欲求・単なる甘え・必要な甘えの区別ができているか。
- 4 子どもの話したい気持ちや伝わったときの喜びを共感しているか。
- 5 子どもに対して、どのような場合には静かに見守っていかなければならないかを正しく理解した上で、子どもとの関わりができているか。

⑭「子どもの発達、成長を理解した保育を行っているか」

- 1 その子の取り巻く環境まで目を向けているか。
- 2 個人差を理解し、発達を見極め、年齢や興味にあった活動を取り入れているか。
- 3 クラスの発達段階を担任同士で共通理解できているか。

- 4 達成のみにとらわれず、子どもの年齢に合った能力を把握し、遊んでいる途中段階に目を向け援助しているか。
- 5 戸外や遊戯室での活動・あそびを工夫し、人数と空間で伊敷した保育を行っているか。

⑮「園外保育における留意点を理解し、保育ができていますか」

- 1 園外保育に出かけるときは、下見や事前打ち合わせ等準備し、安全で楽しい保育になるように努めているか。
- 2 交通指導で危険から身を守るために具体的場面を捉えながら知らせ、瞬発力・機敏性・集中力などがついていくよう指導しているか。
- 3 人数確認を度々行うなど、子どもの安全面に常に配慮しているか。
- 4 活動の目的を伝え、子どもが自然に気付き、あそびに取り入れたり、できるように配慮しているか。また、職員自身も一緒に楽しんで参加しているか。
- 5 社会のマナーを理解し、子どもに伝えているか。

⑯「食育の実践としての保育現場での働きかけができていますか。」

- 1 見本となる食事のマナーを示しているか。
- 2 食事はおいしく、美しくいただき、そして楽しく食べる雰囲気をつくっているか。
- 3 栽培活動の意図を理解しているか。
- 4 食物に関心が持てるような環境をつくっているか。
- 5 職員だけでなく、栄養士、調理員、及び家庭との協力体制の中で食育を進めているか。

⑰「健康管理やけが防止などの、安全管理に関する行動ができていますか」

- 1 年齢や個々に応じた生活習慣の自立へ愛情をもって援助しているか。
- 2 アレルギー疾患の子どもを把握し、状況に応じた対応ができていますか。
- 3 年齢別発達特徴を捉え、安全な環境設定ができていますか。
- 4 ケガにつながった状況を把握し、再び起こらないよう改善策をとっているか。
- 5 災害対策について知識をもち、実行しているか。
- 6 子どもに適切な指導を行えているか。

⑱「気になるお子様の保育、障がい児保育について理解し、実践していますか」

- 1 書物を読んだり、研修に参加したり、先輩に相談するなど積極的に学ぼうと努めているか。
- 2 「虐待を受けているかもしれない」と感じたら、園長・副園長、または主任に相談するように努めているか。
- 3 職員間の共通理解のもと、適切に援助ができていますか。
- 4 障がいについて理解し、その子に合った関わりがもてているか。
- 5 家庭との連携を密にし、保護者との相互理解を図っているか。

⑱ ≪保護者に対する適切な支援とはどのようなものを把握し、実行しているか≫

- 1 家庭や育児の状況や問題点などを理解しながら対応できているか。
- 2 子どもの姿を把握し、変化に気づくことができているか。
- 3 子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか。
- 4 どの保護者にも笑顔で敬語を使って話し、平等に接しているか。
- 5 保護者の気持ちを素直に受け止めているか。

⑲ ≪苦情対応などの困難なコミュニケーションに向き合い、保護者と信頼関係を構築できているか。≫

- 1 保護者などに対し、一貫性のある伝達をしているか。
- 2 トラブルやアフターケアには誠意をもって対応しているか。
- 3 保育のプロとして、必要に応じた適切なアドバイスができているか。
- 4 保育のねらいや園の方針について、説明責任を果たせているか。
- 5 保護者が育児の悩みや心配事を相談できる信頼関係を築くように努力しているか。

⑳ ≪地域社会との連携や子育て支援事業について理解し、必要な役割を担うことができているか。≫

- 1 小学校・公共施設の交流事業を理解しているか。
- 2 地域における園の役割を理解しているか。
- 3 積極的に地域行事に参加・協力しているか。
- 4 園児が住む地域環境を知り、地域性を理解しようとしているか。
- 5 園庭解放など、園に訪れた方と会話することができているか。

㉑ ≪指導計画等を適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できているか。≫

- 1 見通しを持って保育に取り組み、必要な教材などをねらいに応じて考えたり、事前に準備できているか。
- 2 年齢別保育、異年齢保育の中で育つもの、大切にしたいことなどを理解し、保育できているか。
- 3 保育の計画を作成する際は、保育家庭に基づき、子どもの生活する姿や発想を大切にして、適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるよう配慮しているか。
- 4 保育を通して、自己評価をしたり、第三者のアドバイスを取り入れ、専門性の向上や保育実践の改善に努めているか。
- 5 効率よく仕事を進められるような計画をたて、実行しているか。

① 評価

(1) 社会人として意識をもち、組織について理解し、行動しているか	80%
(2) あいさつや言葉づかいなどの正しい基本行動を実践しているか	81%
(3) 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行等、組織人の基本的対応ができていますか	69%
(4) 適宜適切に連絡・相談するなど、迅速な問題の解決に貢献しているか	75%
(5) 職場のコミュニケーションに配慮し、良好な人間関係の構築に努めているか	76%
(6) チームワークの重要性を理解して行動しているか	78%
(7) 職務に創造的態度で向き合い、新しい事柄への能動的な取り組みをしているか	68%
(8) 子どもの情緒の安定に配慮した行動ができるか	72%
(9) 子どもに対し、あそび・その他の活動への関心を高められる環境の設定が理解できているか	71%
(10) 子どもの人権に配慮した言動ができていますか	74%
(11) 子どもの表現力を養う関わりができていますか	68%
(12) 保育活動における受容の態度について理解し、実践しているか	70%
(13) 子ども一人ひとりに対応できる保育を行っているか	73%
(14) 子どもの発達、成長を理解した保育を行っているか	69%
(15) 園外保育における留意点を理解し、保育ができていますか	69%
(16) 食育の実践としての保育現場での働きかけができていますか	70%
(17) 健康管理やけが防止などの、安全管理に関する行動ができていますか	74%
(18) 気になるお子様の保育、障がい児保育について理解し、実践しているか	71%
(19) 保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行しているか	73%
(20) 苦情対応などの困難なコミュニケーションに向き合い、保護者と信頼関係を構築できているか	67%
(21) 地域社会との連携や子育ての支援事業について理解し、必要な役割を担うことができていますか	62%
(22) 指導計画等を適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できているか	64%

② キャリア別評価

(1) 保育経験 0～4年	71%
(2) 保育経験 5～10年	67%
(3) 保育経験 11～20年	60%
(4) 保育経験 21年以上	85%

③ 職務別評価

(1) 保育教諭

主任、副主任、専門リーダー	67%
副主任補佐、専門リーダー補佐、職務分野別リーダー、保育士	76%

(2) その他

調理、看護師、事務員、その他	59%
----------------	-----

平成30年度 あおい保育園 自己評価について

あおい保育園では、保育の質の向上を目指して、職員一人ひとりの自己評価をすることで、園全体の課題を見つけ、子どもたちにとってよりよい環境づくりの工夫につなげています。

つきましては、30年度の自己評価について、下記のとおり結果をお知らせします。

【評価が高い項目】

「あいさつや言葉遣いなどの正しい基本行動を実践しているか」

「社会人として意識を持ち、組織について理解し、行動しているか」

○両項目とも80%を超えているため、多くの職員がこれにはできていると自信を持っている項目といえます。

【最も評価が低い項目】

「地域社会との連携や子育て支援事業について理解し、必要な役割を担うことができているか」

○地域における園の役割については年数問わず全職員に理解する必要のある項目です。地域行事や交流事業については知識やその行事に関わるチャンスがない場合(3歳未満児クラス)もあります。

低い点数をつけたのは比較的経験年数が浅い職員が多いですが、5年以上の職員も1/3いるため経験年数に囚われずに地域交流行事への参加計画を立てたり、自分たちで調べて勉強会をするなど園内での今後の課題としていきたいと思えます。

「指導計画等を適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できているか」

○この項目で評価が低いと日々の保育に追われて、園のスローガンである「本気で保育を楽しむ」ということが達成できていないのではと考えられます。職員同士が保育について情報を共有し、経験の差に関係なく、工夫し合える環境づくりについて、今後の園内研修で取り組んでいきます。チームで協力して役割分担をすることで、職員も子どもたちと一緒に園生活が充実するように努めます。

【キャリア別について】

保育経験の差もありますが、立場も違いますので、経験を経っていくことで視点も広がり自分の課題をしっかりと把握して評価していると思えます。職員の育成・評価する立場のリーダーが自信をもって、働ける職場づくりが今後の課題といえます。

【職能別について】

キャリア別での結果でもあるように役職についている職員のほうが課題を強く感じている傾向にあります。今回の分析結果で最も感じた重要な課題は「専門リーダー・副主任・主任クラス」の自己評価の低さです。今後は、自分の目標と園の進む方向性、それが日々の業務につながっていく道筋が見える化することで、職員一人一人がやりがいをもって主体的に業務に携わっていけるように努めていきます。

上記の内容を園全体で共有することで、一つひとつ課題をクリアしていけるよう、努めて参ります。保育園においては0歳から6歳までの子どもの健やかな育ちを見通しながら保育にあたり、常に自らの保育を振り返り、子どもへの理解を深め、保護者との信頼関係を築いていくことが求められます。自らの保育を職員間で振り返ることが自己評価です。子ども自らが環境に関わりながら自信をもってその人生を歩んでいくことができるよう自己評価の取組を通して、保育の質の向上を図っていくことを常に職員間で共有しながら進めていきたいと思えます。

平成31年3月